

平成29年6月七管内漁船海難 計10隻

乗揚事故が相次いで起きています！ 6月だけで3件も発生！！

漁船A丸（船長1人乗船）が、錨泊して一本釣り中、潮の影響で乗揚げました。

A丸は風浪の影響により錨泊した位置から岩場に囲まれた海域側に入り込んでしまいましたが、乗揚げることはないだろうと判断し、漁を続けてしまったようです。

この結果、引き潮の影響で船体が乗揚げてしまい、また、船底に穴が開いたことにより浸水してしまいました。なお、船長は近くの機場に避難して無事でした。



乗揚げた後、浸水したA丸

小まめに船の位置や周辺の状況を確認することで、事故を未然に防ぐことができるね！！



©JCGF

錨泊する際は、その場所の選定にも注意が必要だね！

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	5
乗揚	■	3
機関故障	●	1
火災	▲	1
合計10隻		

	県別内訳	
	6月	H29累計
山口県	0	6
福岡県	4	10
佐賀県	0	4
長崎県	5	27
大分県	1	6

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



6月の漁船海難発生地点

大雨の影響で自船の位置を喪失する事案が起きています！

【大雨による事故事例】

プレジャーボートで魚釣りをした後、帰港中、空模様が急変して激しい雨にみまわれ、周囲の陸地がまったく見えず、自船の位置がわからなくなってしまったが、そのまま進めば港に着くだろうと考え、航行を続けたところ、いつの間にか進路が逆方向に変わっており、とうとう、自力で帰港できなくなってしまったというような案件が、同じ日に2件続けて発生しました。



七管区海難防止キャラクター「どんちゃん」

天候の悪化が予想以上に早く、準備が間に合っていません。空模様、雲の様子に注意し、早めの判断を！！「海の安全情報」でお知らせしています。

真っ黒な雲、雷、急な冷たい風は積乱雲接近のサイン！
積乱雲接近は、突風・竜巻・激しい雨・雷に注意が必要！

海の安全情報をご利用ください！
気象情報をメールで入手できます！

海の安全情報

検索



スマホ版



モバイル版